

令和3年度 第2回 分科会（産業医関連）サマリー

- 1 日時・場所 令和4年1月26日（水）19:00～20:00
ZOOM開催
- 2 出席者 医師7名 病院事務局3人 市5人 受託業者6人 （別紙名簿のとおり）
- 3 会議結果
 - （1）令和4年度産業医学基礎研修会の日程について
 - ① 開催日
土日祝日開催を基本とし、参加者ベースでの開催を優先
今年度の月曜開催の意図として、神栖市に所在する企業の周知
来年度は日曜日でも、年1-2度であれば、企業の講義・工場見学等対応可能である
 - ② 参加定員
茨城県医師会の回答では、実地研修については監督者1名につき受講者50名
50名以上に関しては、監督者2名必要となる
ワークショップの開催が基本ではあるが、コロナ禍のため柔軟な対応
 - （2）監督者の選任について
監督者の分担として田中完先生・榊元武先生・赤井博孝先生の3名が担当
研修会当日においては早退・遅刻者への対応、替玉受講の確認等試験監督業務、
実施報告書へのサイン等。監督業務以外の手続きは田中先生に一本化とする
監督業務の分担化については、上記3名の先生に一任する
 - （3）講師の選定について
 - ・オール神栖として、委員からの推薦者や市内医療機関の医師を積極的に登用
ただし、各分野で著名な先生は引き続き講師の依頼を要請する
 - ・アンケート上、講師のみがWEB講義を行う事は、ネガティブな声がある為、可能な限り対面型講義を推奨
 - ・講義内容・講師の早期選定
 - （4）実地研修先の確保について
神栖市による実地研修先確保のための個別訪問を実施。今年度は定期修理やコロナ禍
のため数社、企業側より見合わせ
座学講義においても好印象のアンケートも多かったため、企業側へフィードバックと
運営側・講演者側双方のブラッシュアップを図る
現時点までの研修先は業種が偏っている。飼料工場等ほかの業種の工場見学も要検討。
 - （5）参加者からの意見、問い合わせについて
研修会受講者からのアンケート意見抜粋。講師・資料・WEB講義等改善希望の声
<講師陣からのコメント>

神栖在勤医師の場合、工場勤務の患者が多いので企業雰囲気を感じ取れるのが利点。

<講師陣からのコメント つづき>

教示したい内容が多いと資料の文字が増え、早口になる。文字の大きさを心がける。コロナ禍での開催はWEB講義でも有難いのではないか。SNSでも高評価。

WEB講義は受講者の反応が一切分からない。

Slido（ツール）の使用は大学の授業や研修会でも広く使われており、受講者はコメントや質問を自由に打ち込めるため、講師はリアルタイムで反応を認識できる。

Slidoの使用について、今後の研修会での導入も要検討事項。

参加者の反応を直に感じられるため可能な限り対面型講義を希望とする。

PCの使用は医師会にて禁止されており、かつ、可にした場合キータッチ音のクレーム等あり許可が困難。

アンケートの意見が反映されているか不安な受講者もいるため、運営側でも考慮している点を示すためにもQ&A形式でHP上への掲載を要検討。例）土日開催は、神栖市の認知度向上目的である。1単位ずつの受講は、管理が煩雑になる。など。

(6) 来年度の開催日程について

仮日程と、各研修の組み込み2案

2案ともに仮日程は固定とし、前期研修を2回開催予定、会期最初に1回目を組む

1. 会期通して前期研修を半ばにに入れる案

一度前期を逃すと来年になり悲痛な意見が多い為、同じ内容の研修会を分散

2. 会期開始直後に2回連続とする案

基礎内容踏まえると、最初の段階で前期研修を学び、後期に活かすことができる。前期で30名、30名の受講であれば後期・実地を60名定員にすることは可能。ただし、座学の実地研修にて監督者2名が必要となる。

または、午前中で終了する講義については単位数を増やすことも可能。

研修は、後期研修を先に受講しても単位取得に支障はないが、前期研修は総論的な内容のため、早期に受講することを推奨する

勤務医の中には2日間休むのは厳しいため、できれば1日に詰め込んでほしいという意見が多い。丸1日に研修を詰め込んだ開催日を選定してもよい。ホテルの借り上げは全日で、過去開催では18:30に終了した研修会もあり。

(7) その他

講師は個人勤務（個人事業主）となるため、病院命令でなければ働き方改革の時間には入らない

今後の分科会の議題として、

- ・神栖に興味のある先生に対し、どんなフォローをしているのか
- ・研修会だけに留まらず、今まで参加してくださった先生方へ情報発信できるような仕組みづくり